

C o n t e n t s

① 年金はなぜ必要か

24 長生きしたいけど



入っててよかった

② 年金のメリットは?

25 老後の生活費は
どうするつもり?



③ 社会全体での世代間扶養とは?

25 もしも年金が
なかったら...



④ 公的年金と個人年金の関係

26 国民年金なら
未来も安心



⑤ 少子化が進むと年金はどうなる?

26 長男vs長女
時代の到来



⑥ 12年改正で若い世代の保険料負担を軽減

27 みんなで
少しずつ
我慢すれば!



⑦ 若い世代は払い損になるのでは?

27 年金はトクか、
ソンか?



⑧ 老後生活費がなくて払えないのか

28 ねえ、
変じゃない?



⑨ 老後生活費が足りなくなるか

28 井の中の蛙、
大海を知らず



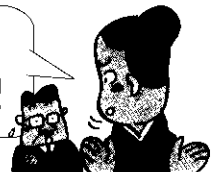
⑩ 年金をもらうつもりはないというけれど

29 自分だけ知らんぷり
なんてカッコ悪い

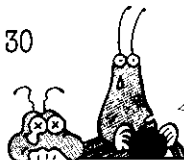


⑪ 基礎年金を全額消費税で賄うとしたら

29 えっ、それって
巻き添えじゃない!!



30 アリもキリギリスも
悲しい結末に



30 自己責任といえ
聞こえはいいけれど



①-2 年金はなぜ必要か

入っててよかった



公的年金に加入して保険料をきちんと納めていれば、人生の万一のときも保障があります。若いうちは「障害年金」、結婚したら「遺族年金」、老後には「老齢年金」。年金は生涯を通してみんなの安心をずっと守ってくれる大切なものなんです。

①-1 年金はなぜ必要か

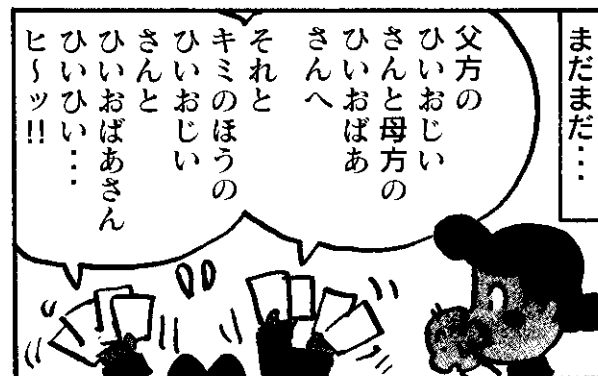
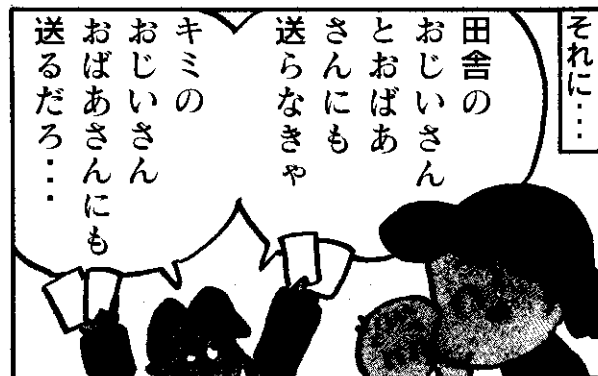
長生きしたいけど



公的年金は「生涯」の保障なので、どんなに長生きしても安心。ただし40年間の加入期間中(20歳から60歳になるまで)25年以上保険料を納めていないと(免除期間等を含む)、国民年金はおろか厚生年金など、どの老齢年金ももらえません。

③ 社会全体での世代間扶養とは？

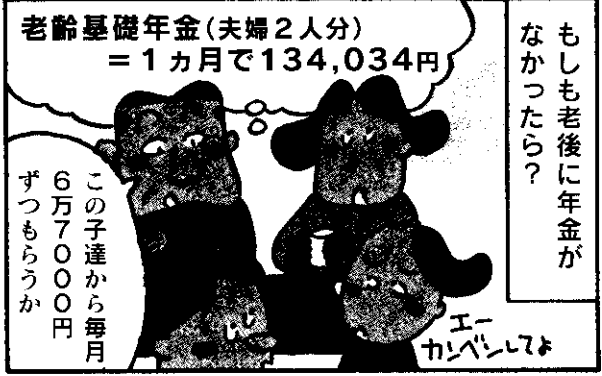
もしも年金がなかったら…



個人だけで仕送りを続けるのは大変！公的年金は、社会全体で考える仕送りのしくみです。20歳から59歳までの幅広い現役世代が納める保険料がその時代の高齢者の年金給付に充てられます。個人の力を持ちよって、社会全体でお互いの安心と幸せを支えあうということですね。

② 年金のメリットは？

老後の生活費はどうするつもり？



※10年国債の利率1.29%で計算



老後に13万4000円の定期収入を確保するのはご覧のように大変です。でも、40年間国民年金保険料を納めておけば、65歳以降は基礎年金だけでも上記の金額を"生涯"もらい続けられます。もう、年金のメリットはしっかりお分かりいただけましたよね。

⑤ 少子化が進むと年金はどうなる？

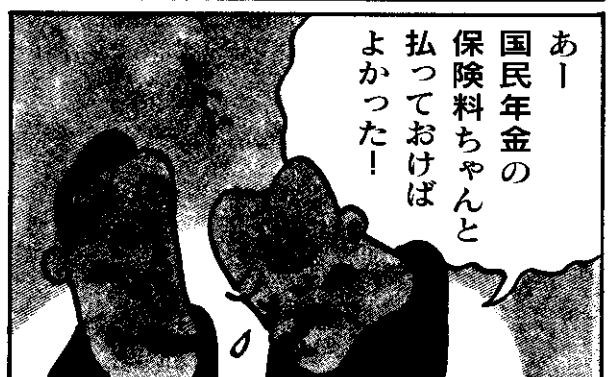
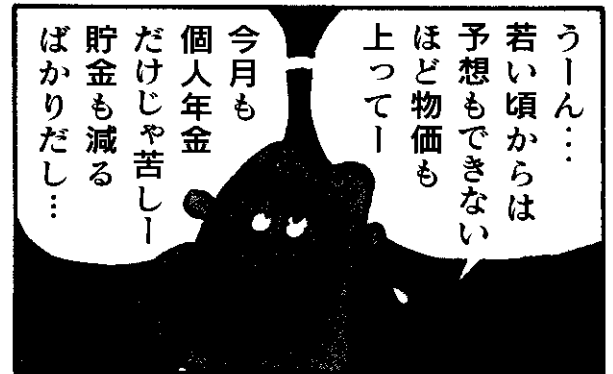
長男VS長女時代の到来



支える現役世代が少なくなるので「年金が危ない」と言う人がいます。でも、保険料を納める代わりに親へ仕送りするとしたら、子ども一人あたりの額を増やすか、親が仕送りを少し我慢するでしょう。年金も同じ、親子(世代)の間で給付と負担を調整しています。

④ 公的年金と個人年金の関係

国民年金なら未来も安心



将来、インフレなど予想を超えるリスクに対応して年金額を引き上げられるのは公的年金だけ。しかも生涯保障。まずは保険料をきちんと納めて全員が満額の国民年金をしっかりと確保し、それを補いゆとりをうみだすものとして民間の個人年金を位置づけましょう。